

附随文項目	千圓単位用要求額	備	考
(日) 各所修繕	330,000	8ツ切アノソニ	1箇 50,000
			202,000
		焼存建物修繕	27面坪 10,000
		境界線復旧	20回 3,000
		被災建物復旧	42坪 37,000
			1,554,000
(日) 東京工業 大学復旧 費	1,554,000		

大甲第四三七号
外一件

昭和二十八年十二月十四日
昭和二十八年十二月十五日
昭和二十八年十二月十五日
昭和二十八年十二月十五日

内閣総理大臣

内閣官房長官
内閣官房副長官

逓信大臣 幣	大蔵大臣 安	文部大臣 安	陸軍大臣 安	海軍大臣 安	司法大臣 安	農林大臣 安	商工大臣 安	逓信大臣 安	大蔵大臣 安	文部大臣 安	陸軍大臣 安	海軍大臣 安	司法大臣 安	農林大臣 安	商工大臣 安
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

別紙大蔵大臣請議
通商産業省所管 国際電気標準会議分担金

支払に必要な経費(一〇〇五,〇〇〇円)に昭和三十八年度一般会計予備費使用方の件外一件
右閣議に供する。

指令案
例文

昭和三十八年度一般会計予備費使用

其一
大甲
四三七
一、通商産業省所管

国際電気標準会議分担金支払に必要な経費一〇〇五,〇〇〇円

其二
大甲
四三八
一、農林省所管

昭和三十八年度食糧管理特別会計予備費使用

西日本水害等の災害復旧並びに事務処理に必要な経費

三四〇,八三〇,〇〇〇円

内閣

大甲 四三X

針私第30X戸号
昭和28年12月14日

内閣総理大臣 吉田 茂 殿

大蔵大臣 小笠原 三九郎



昭和28年度一般会計予備費使用

国際電気標準会議分担金支払に必要な経費

1,005,000 円

通商産業省所管 一般会計

(組織) 工業技術院

(項) 国際会議其他諸費 1,005,000 円

備考

昭和28年度一般会計予備費予算額

3,000,000,000

内

初頭から本案前までの使用累計額

522,489,000

本案による使用予定額

~~2,447,000~~
1,005,000

差引予算残額

~~2,475,069,000~~
2,476,506,000

Handwritten notes in Japanese, including the name of the organization and the amount of the expense. The text is written vertically and includes details about the international electrical standards conference.

事 由

わが国の国際電気標準会議加入に伴つて、所定の分損金を支出する必要がある。

上記の経費につき、別紙内訳書の科目に従つて、昭和28年度一般会計予備費の使用を取り計らいたいのので、閣議の決定を求めます。

なお、閣議決定の上は別紙を返却して下さい。

大蔵省

日+IR&I&SS財団

田吉 田大恵

田大恵

田大恵

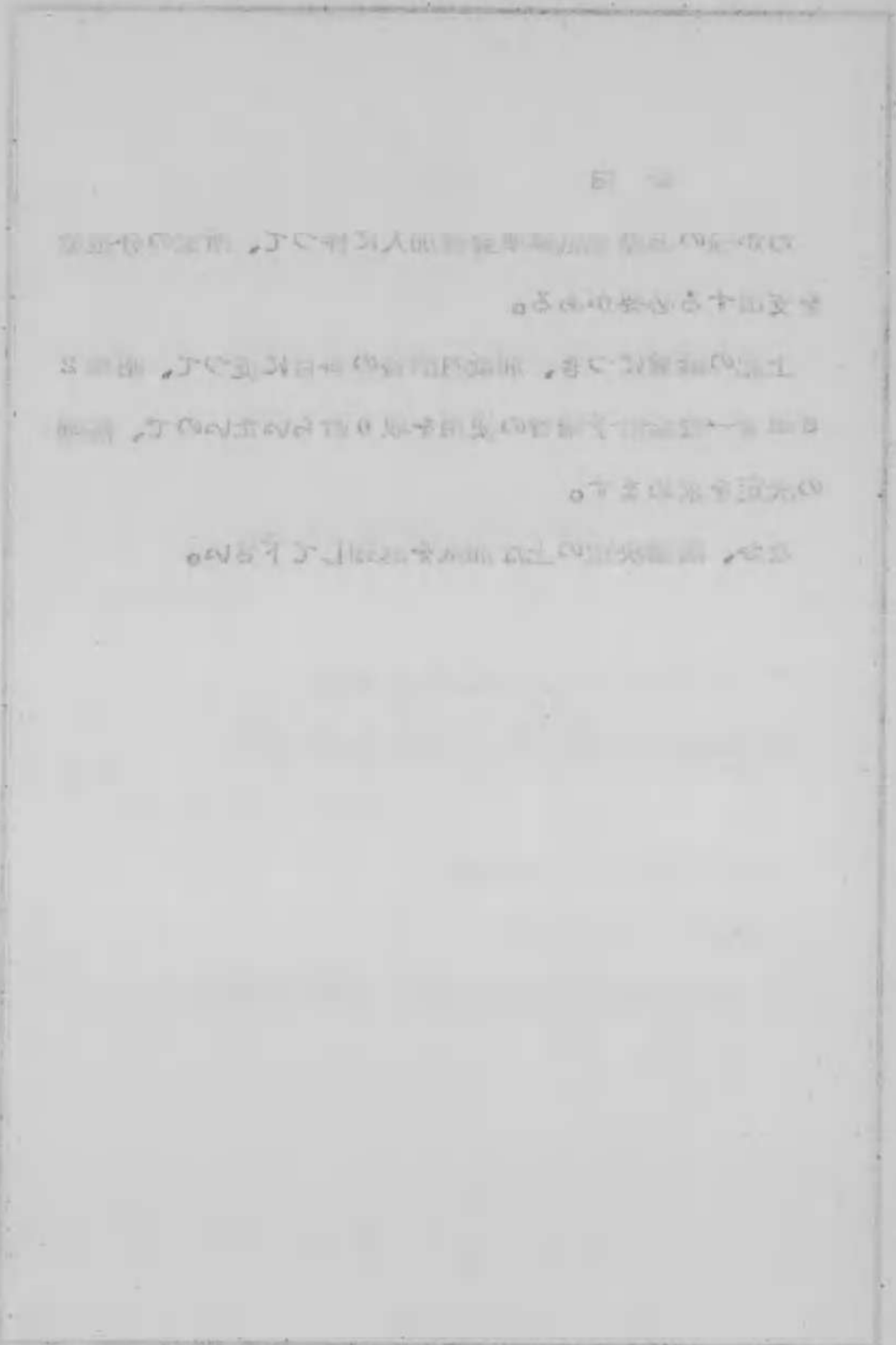
田大恵

田大恵

田大恵

田大恵

田大恵



通商産業省所管昭和28年度一般会計予備費使用要求書

国際電気標準会議 (IECC) 加入分担金支払に必要な経費

要求理由

今回日本の国際電気標準会議 (IEC) への加入が加盟世界各国より承認され
たので、ラッセヨ母体分担金を払込むことになったため、予算外に生じた必要経
費として予備費の使用を要求する。

組織別々項目	予備費 使用要額	備	考
(組織) 工業技術院 (項) 国際会議其他経費 国際電気標準会議分担金	1,005,000 円		

八四六六領付員費均額

区	分	員	数	單	価	金	類	予 使 用 備 考 要 求 額	備 考 額	備 考	否	
	(超額) 工業技術院 (項) 国際会議其他諸費 国際電気標準会議分担金				712732 1金732 = 1408			712732 1金732 = 9326円 1金 = 3508円	122000 120000 1円	1004602 円	1005000 円	

大甲四三八

針私沖3050号
昭和28年12月14日

内閣総理大臣 吉田 茂 殿

大蔵大臣 小笠原 三九郎



昭和28年度食糧管理特別会計予備費使用

西日本水害等の災害復旧並びに事務処理に必要な経費

34083.000 円

農林省所管 食糧管理特別会計

(項) 事務費 34083.000 円

備 考

昭和28年度食糧管理特別会計予備費予算額

10,000,000.000

内

本案による使用予定額

34,083.000

差引予算残額

9,965,917.000

事由

西日本水害、第13号台風及び冷害によるこれらの地域の被害食糧の調査、緊急処分、糞尿保有量の調査及び種々の緊急集荷輸送等に必要経費と、東京食糧事務所深川倉庫の防潮堤を新設する経費を支出する必要がある。

上記の経費につき、別紙内訳書の科目に従つて、昭和28年度食糧管理特別会計予備費の使用を取り計らいたいのので、閣議の決定を求めます。

なお、閣議決定の上は別紙を返却して下さい。

大蔵省

昭和28年11月14日
日付 11月14日

東京 出告 日入 財部 内



大蔵省 主計局 出

昭和28年度食糧管理特別会計予備費

西日本水害の被害食糧の調査等に必要経費に充てるに当り

円 〇〇〇,〇〇〇

東京食糧事務所 深川倉庫 防潮堤新設

円 〇〇〇,〇〇〇

(出)

(参考) 災害関係経費予算予備費使用事項別要求内訳

区 分	西日本水害に 伴う経費要求額	台風十三号災 害に伴う経費 要求額	種別業務に 伴う経費要求額	冷害対策に 伴う経費要求額	東京食糧事務所深 川倉庫構内防潮堤 建設に要する経費	合 計
事務費	7,547,000	4,761,000	4,945,000	4,722,000	9,908,000	34,093,000
旅員旅費	1,652,000	613,000	1,734,000	0	0	3,999,000
業務旅費	2,238,000	2,048,000	2,008,000	4,722,000	0	11,016,000
庁 費	2,730,000	1,727,000	1,203,000	0	0	5,660,000
備品費	608,000	75,000	0	0	0	683,000
通信運搬費	2,122,000	1,652,000	1,203,000	0	0	4,977,000
会議費	100,000	0	0	0	0	100,000
各所修繕及新営	2,827,000	573,000	0	0	9,908,000	13,308,000

農林省所管 昭和二十八年度食糧管理特別会計予備費使用要求書

事項名 西日本水害並びにノ3号台風災害に伴う経費

食糧庁

要求理由

先般九州、山口並びに和歌山地方を襲った水害と十三号台風による被害は甚大なものであり、これらの地域における被害食糧の調査、緊急処理及び食糧供給の確保並びに各般の整理、復旧業務等に多大の経費を必要としたので、これらに要した経費を予備費使用要求する。

組織別及項目	予備費使用要求額	備 考	
		内 西日本水害関係	十三号台風災害関係
(食糧管理特別会計) (項) 事務費	14,508,000	9,547,000	4,961,000
11. 職員旅費	2,265,000	1,652,000	613,000
14. 業務旅費	4,286,000	2,238,000	2,048,000
18. 庁費	4,445,700	2,730,000	1,722,700
21. 会議費	100,000	100,000	0
24. 各所修繕及新営	3,400,000	2,827,000	573,000

科 目	予備費要求額	備 考
(西日本水害に伴う経費)	9,547 <small>千円</small>	
職員旅費	1,652	
被害調査	335	京都、奈良、三重 3人×6支所=18人 4,300円×18人=77,400円 和歌山、山口、長崎、大分 1人×6班×4事務所=24人 4,300×60=258,000 福岡、佐賀、熊本 1×12×3=36
被害整理	731	京都、奈良、三重 3人×6支所=18人 4,300×18=77,400 和歌山、山口、長崎、大分 2人×7班×4事務所=56人 4,300×152=653,600 福岡、佐賀、熊本 2×16×3=96
被害報告	250	所長10人 経理、出納10人 12,500×20=250,000
被害貨物入札	336	福岡、佐賀、熊本 2人×15班×3事務所=90人 } 2,300×146=335,800 和歌山、山口、長崎、大分 2×7×4=56人
業務旅費	2,238	
被害調査並処理		
支所—本所	34	京都、奈良、三重 1支所 1人 2回 6支所分 1,300円×12=15,600 和歌山、山口、長崎、大分、福岡、佐賀、熊本 1事務所 1人 2回 7事務所分 1回 1,300円×2×7=18,200

科 目	予備費要求額	備 考																																				
支所 — 出張所	149 ^{千円}	京都、奈良、三重 $5^{\wedge} \times 17$ 出張所 = 85人 $1,500^{\text{円}} \times 85 = 127,500$ 和歌山、山口、長崎、大分、福岡、佐賀、熊本 / 事務所 1人 2回 1回 $1,500 \times 7 \times 2 = 21,000$																																				
出張所 — 支所	36	京都、奈良、三重 $1^{\wedge} \times 17$ 出張所 = 17人 $1,500^{\text{円}} \times 17 = 25,500$ 和歌山、山口、長崎、大分、福岡、佐賀、熊本 / 事務所 1人 1回 $1,500 \times 7 = 10,500$																																				
日 額 旅 費	2,019	京都、奈良、三重の事務所は被害支所。出張所取員全員。その他は $\frac{2}{3}$ が10日間 $900^{\text{円}} \times 2.244 = 2,019,000$																																				
方 費	2,730																																					
備 品 費	608	庁舎流出等により <table border="1" data-bbox="1507 1050 2552 1732"> <thead> <tr> <th>品 目</th> <th>買 数</th> <th>単 価</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>机</td> <td>90</td> <td>3,500</td> <td>315,000</td> </tr> <tr> <td>椅子</td> <td>90</td> <td>1,500</td> <td>135,000</td> </tr> <tr> <td>自転車</td> <td>10</td> <td>10,000</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>衡 器</td> <td>10</td> <td>1,500</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>カルトン</td> <td>230</td> <td>100</td> <td>23,000</td> </tr> <tr> <td>上皿天秤</td> <td>10</td> <td>1,200</td> <td>12,000</td> </tr> <tr> <td>巻 尺</td> <td>40</td> <td>200</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>608,000</td> </tr> </tbody> </table>	品 目	買 数	単 価	金 額	机	90	3,500	315,000	椅子	90	1,500	135,000	自転車	10	10,000	100,000	衡 器	10	1,500	15,000	カルトン	230	100	23,000	上皿天秤	10	1,200	12,000	巻 尺	40	200	8,000	計	—	—	608,000
品 目	買 数	単 価	金 額																																			
机	90	3,500	315,000																																			
椅子	90	1,500	135,000																																			
自転車	10	10,000	100,000																																			
衡 器	10	1,500	15,000																																			
カルトン	230	100	23,000																																			
上皿天秤	10	1,200	12,000																																			
巻 尺	40	200	8,000																																			
計	—	—	608,000																																			

科 目	予備費要求額	備 考																																																
通 信 運 搬 費	2,122 <small>千円</small>	<p>京都、奈良、三重 50,000円 × 3 事務所 = 150,000円</p> <p>福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、山口、和歌山は平均1ヶ月所要額の3倍を必要とした。災害処理期間10日間と見てその1/3 $23,665,000円 \times \frac{1}{12} \times \frac{1}{3} \times 3 = 1,972,000円$</p>																																																
会 議 費	100	和歌山、熊本は炊出のため一事務所 50,000 × 2																																																
各所修繕及新営	2,827	流出庁舎建設に要する経費																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>所 管</th> <th>支所出張所名</th> <th>所要坪数</th> <th>坪当単価</th> <th>金 額</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>和歌山</td> <td>御坊支所</td> <td>30^坪</td> <td>25,700</td> <td>771,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>城山出張所</td> <td>15</td> <td>25,700</td> <td>385,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>熊 本</td> <td>小島 "</td> <td>20</td> <td>25,700</td> <td>514,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大 分</td> <td>夜明 "</td> <td>15</td> <td>25,700</td> <td>385,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>京 都</td> <td>大河原 "</td> <td>15</td> <td>25,700</td> <td>385,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>和束 "</td> <td>15</td> <td>25,700</td> <td>385,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2,827,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			所 管	支所出張所名	所要坪数	坪当単価	金 額	摘 要	和歌山	御坊支所	30 ^坪	25,700	771,000		"	城山出張所	15	25,700	385,500		熊 本	小島 "	20	25,700	514,000		大 分	夜明 "	15	25,700	385,500		京 都	大河原 "	15	25,700	385,500		"	和束 "	15	25,700	385,500		計				2,827,000	
所 管	支所出張所名	所要坪数	坪当単価	金 額	摘 要																																													
和歌山	御坊支所	30 ^坪	25,700	771,000																																														
"	城山出張所	15	25,700	385,500																																														
熊 本	小島 "	20	25,700	514,000																																														
大 分	夜明 "	15	25,700	385,500																																														
京 都	大河原 "	15	25,700	385,500																																														
"	和束 "	15	25,700	385,500																																														
計				2,827,000																																														

取 員 旅 費

1. 被 害 調 査

事務所本所取員がノ班ノ人である班を組織し管内にわた、交通機関途絶等の実情による宿泊増をみて平均宿泊5日とした。

2. 被害整理、被害貨物入札等

同上基準により計算した。

3. 上 京 旅 費

被害状況報告のため所長ノ回、出納整理関係各ノ面

業 務 旅 費

1. 支 所 → 本 所 間 連 絡

水害管内状況報告並に処理報告にノ人宛計2人

2. 支 所 → 出 張 所 間 連 絡

水害管内状況調査、処理のためノ人宛計2人

3. 出 張 所 → 支 所 間 連 絡

水害状況報告のためノ人宛回計2回連絡

4. 日 額 (人頭) 旅 費

支所、出張所取員の平均1/2が10日間出勤する。

通 信 運 搬 費

各事務所平均一ヶ月所要額の2倍を必要とした。災害処理期間を10日間とみて、その1/2額を計上した。

福 井	314,000円
静 岡	429,000
愛 知	671,000
三 重	367,000
京 都	369,000
奈 良	385,000

計 $3,204,000 \times 1.5 \times \frac{1}{3} = 1,642,000$

和歌山 417,000
 徳島 349,000

荷品費

自	車	2	10,000	20,000	(流出)
中	卓	4	3,500	14,000	管知備置支庁平坂出張所
中	椅子	10	1,500	15,000	
戸	棚	2	10,000	20,000	
騰	架	2	3,200	6,400	

計 254,400 ≒ 250,000

各庁修繕及新管

管	知	倉庫庁舎	宿舎	屋根修理	38坪	1,500	132,000
"	"	"	"	板塀修理	107間	1,600	172,800
"	"	"	"	門扇修理	"	"	24,500
"	"	"	"	雨樋修理	"	"	26,000
"	"	"	"	建具煙突修理	"	"	22,000

377,300 ≒ 372,000

三	重	庁舎	宿舎	屋根修理	34坪	1,500	41,000
"	"	"	"	板塀修理	67間	1,600	107,200
"	"	"	"	壁修理	8坪	1,000	8,000
"	"	"	"	取替	32畳	1,000	32,000

196,200 ≒ 196,000

職員旅費

	被害調査			被害整理等		上京旅費		計
	一回分	積数	金額	積数	金額	所長	整理出納各/	
井	4800	6	28,800	6	28,800	12,360	22,620	80,220
静	4800	6	28,800	6	28,800	10,090	14,820	72,420
愛	4800	6	28,800	6	28,800	12,850	17,580	75,180
三	4800	6	28,800	6	28,800	13,290	18,660	76,260
京	4800	6	28,800	6	28,800	16,330	21,860	79,460
都	4800	6	28,800	6	28,800	14,410	9,300	66,900
長	4800	6	28,800	6	28,800	16,160	22,380	79,980
和	4800	6	28,800	6	28,800	18,320	25,020	82,620
歌	4800	6	28,800	6	28,800	11,3810	152,240	613,040
山								≒ 613,000
徳								
島								
計			230,400		230,400			

業務旅費

	支弁本所連絡			支弁出張所連絡		支所連絡		支弁出張所		日額旅費 ① 90x10=900	計
	一回分	回数	金額	一回分	回数	金額	積員数	全士			
福	3860	2	7720	8,170	2	16,340	322	161	144,900	185,300	
静	9052	2	18,104	19,940	2	39,880	567	284	255,600	353,464	
愛	13,560	2	27,120	19,216	2	38,432	622	311	279,900	383,884	
三	9,764	2	19,528	13,245	2	26,490	493	247	222,300	294,808	
京	13,798	2	27,596	9,995	2	19,990	351	176	158,400	225,976	
都	2,048	2	4,096	13,290	2	26,580	213	107	96,300	153,556	
長	6,748	2	13,496	32,035	2	64,070	293	147	132,300	273,936	
和	3,452	2	6,904	12,420	2	24,840	267	134	120,600	177,184	
歌											
山											
島											
計	62,282	2	124,564	128,311	2	256,622		1,587	1,410,300	2,048,108	
											≒ 2,048,000

	本	支	出	計	支
	所	所	張	計	所
	所	所	所	計	出
	所	所	所	計	張
	所	所	所	計	所
	所	所	所	計	計
福	79	111	211	401	322
静	110	193	374	677	567
愛	173	181	441	795	622
三	95	140	353	588	493
京	103	111	240	454	351
和	89	86	127	302	213
歌	84	97	196	377	293
山	86	72	195	353	267
島	819	991	2137	3947	3128
計					

農林省所管 昭和28年度食糧管理特別会計予備費使用要求書
 事項名 種籽緊急輸送に伴う経費

食糧庁

要 求 理 由

さきに九州、山口並に和歌山地方を襲った水害による被害は甚大なものであり、こ
 れらの地域における苗移植後の稲の荒廃埋没等を蒙った農家に対し、極めて短期間に
 種籽を補給する必要あり、このため7月5日を集荷目標期日として、東北、北陸、
 中国地方及び九州南部の農家保有種籽を速急に集荷すると共に、災害地帯にこれを緊
 急輸送したのであるが、これに要した経費を、予備費使用要求する。

組 織 別 及 項 目	予 備 費 使 用 要 求 額	備 考
(食糧管理特別会計)	円	
(項) 手 務 費	4,944,500.00	
11 販 買 旅 費	1,734,000.00	
14 業 務 旅 費	2,008,000.00	
18 方 費	1,203,000.00	

種別緊急輸送関係科目別内訳明細書

科 目	予備費要求額	備 考
(種別緊急輸送関係)	4,945 千円	
職員旅費	1,734	
事務所	1,647	$2^{\wedge} \times 2^{\text{冊}} \times 179^{\text{冊}} = 716^{\wedge}$ $2,300^{\text{冊}} \times 716^{\wedge} = 1,647,000^{\text{冊}}$
梓継地	87	本庁2^7月6日~12日迄 巻地下肉詰 $10,500^{\text{冊}} \times 2^{\wedge} = 21,000^{\text{冊}}$ 山口 〃 $6,000^{\text{冊}} \times 3^{\wedge} = 18,000^{\text{冊}}$ 福岡 〃 受地肉詰 $6,000^{\text{冊}} \times 3^{\wedge} = 18,000^{\text{冊}}$
事務所旅費	2,008	青森外14事務所、支所、職員70%と出張職員全員が3日間出る。 $(2,210^{\wedge} \times 70\% + 5,811^{\wedge}) \times 3^{\text{冊}} + 20^{\wedge} \times 12^{\text{冊}} = 22,314^{\wedge}$ $90^{\text{冊}} \times 22,314^{\wedge} = 2,008,000^{\text{冊}}$
庁 費		
通信運搬費	1,203	本所 $10,000^{\text{冊}} \times 15^{\text{冊}} = 150,000^{\text{冊}}$ 支所 $2,500 \times 179 = 448,000$ 出張所 $500 \times 1,210 = 605,000$

農林省所管 昭和28年度食糧管理特別会計予備費快用要求書
 事項名 冷害対策に伴う経費 食糧庁
 要求理由

今次東日本一帯を襲った冷害に伴う、メダ年産米収獲力減収は被害地農家の自家
 米存置り減少をも未了結果となり、これら為沖十七画時国公において飯米用り安
 売等をも考慮されている現況にあるので、農家配給量の算定により一層り正確を
 期する為個々りの農家につき調査する必要があるので、下記経費を要求する。

組別及項目	予備費快用要求額	備	考
(食糧管理特別会計) 項) 事務費	円		
14 業務旅費	472,200.00		

算出基礎説明

岐阜県以東の冷害被害市町村別水稻減収率調(メダ-10-5)に基く被害市町村総収
 (4,917)の内被害率30%以上り市町村数(3,529)は73%を占めている。
 従って、これら市町村に服務する出張所職員数(7,956)の73%に当る職員(5,829)
 が調査に從事するものとし、一人平均は7日当たり日当90円に運賃200円、1100円とする。

$$5,829 \times 7 \times 90 \text{円} = 4,721,490 \text{円} \approx 4,722,000 \text{円}$$

地区名	出張所職員数	地区名	出張所職員数	地区名	出張所職員数	出張所職員数
北海道後援事務所	451	埼玉食糧事務所	471	岐阜食糧事務所	339	
青森	352	千葉	471	計		7,956
岩手	284	東京	116			
宮城	409	神奈川	222			
秋田	329	新潟	576			
山形	340	富山	296			
福島	463	石川	254			
茨城	604	福井	209			
栃木	425	山梨	142			
群馬	492	長野	429			

農林省所管 昭和28年度食糧管理特別会計予備費使用要求書

食糧庁

事項名 東京食糧事務所深川倉庫構内防潮堤建設に要する経費

要求理由

深川倉庫は大正十年埋立地に建設して以来地盤はノミムク程沈下し、常に満潮時に敷地の一部は浸水する状態で高潮時には構内に浸水する実情にあり、台風時には一搬食糧に多大の損害を及ぼす虞あるため、今回附近一帯に東京都で防潮堤を新設するので、当庁所管敷地も併行して新設工事を施行するものとする。

組織別及項目	予備費使用要求額	備	考
(食糧管理特別会計) (項) 事務費	円		
24. 各所修繕及新設	9908000		

要求額内訳明細

区	分	員数	単価	金額	備	考
防	湖堤	延長 468 m	15,000 円	7020,000 円		
水	排水	2 ヶ	350,000	700,000	巾3向高サ/向鉄線排水	
全	庫附屬建物移転	34 坪	7000	238,000	孔0特殊装置5ヶ所	
	計			9908,000	12.75坪 x 2棟 = 25.5坪	
					8 x 1 = 8.0	
					計 33.5	
					± 34	

食糧管理特別会計 予備費支出参照表

科 目	予 算 額	予算決定後 増 加 額	流用増 △減額	予 算 現 額	支 出 額			差 引 残 △ 不 足 額	予 備 費 要 求 額
					10月迄支出済額	11月以降支出額	計		
	円	円	円	円	円	円	円	円	
事 務 費	7,782,600,000	42,322,391	0	7,824,922,391	4,690,717,643	3,168,287,748	7,859,005,391	△ 34,083,000	34,083,000
超通勤務手当	189,047,000	9,699,001	0	198,746,001	110,553,406	88,192,595	198,746,001	0	0
職員旅費	162,616,000	23,420	0	162,639,420	133,764,051	32,874,369	166,638,420	△ 3,999,000	3,999,000
業務旅費	538,926,000	0	0	538,926,000	266,828,581	283,113,419	549,942,000	△ 11,016,000	11,016,000
方 費	677,662,000	23,797,644	0	701,459,644	398,185,792	308,933,852	707,119,644	△ 5,660,000	5,660,000
会 議 費	6,324,000	0	0	6,324,000	4,044,453	2,379,547	6,424,000	△ 100,000	100,000
各所修繕及新管	68,411,000	0	0	68,411,000	18,754,538	62,964,462	81,719,000	△ 13,308,000	13,308,000
その他の目	6,139,614,000	8,802,326	0	6,148,416,326	3,758,586,822	2,389,829,504	6,148,416,326	0	0
その他の項	610,178,643,000	17,433,841,485	0	627,612,484,485	367,310,490,533	260,301,993,952	627,612,484,485	0	0
予 備 費	10,000,000,000	0	0	10,000,000,000	0	0	0	10,000,000,000	△ 34,083,000
歳 出 合 計	627,961,243,000	17,476,163,876	0	645,437,406,876	372,001,208,176	263,470,281,700	635,471,489,876 (9,965,917,000)		0